

さくら貝

ふだんのくらしのしあわせ

発行
平成 31 年 4 月 1 日
No.183 号
逗子市桜山 5-32-1
電話 046-873-8011
info@zushi-shakyo.com



社協会費で実施しています！

フレンドリーヘルパー

地域の皆様からの社協会費で運営している「家事や簡単なお手伝い」をするヘルパーサービスです。社協会員同士の相互助け合いとして、昭和 60 年から続いています。

現在 54 名のヘルパーが在籍し、家事や通院のお手伝い、お話し相手や子どもの見守り、簡単な草取りなど、毎日様々なところでお手伝いをしています。



「介護保険では足りない部分や、自分で出来るがちょっとお手伝いが欲しい部分にお願いをしています。ヘルパーさんとお話しするのも楽しみなんです。」とご利用者様からのお声。

地域で長年重宝されるフレンドリーヘルパー。ぜひお気軽にご相談ください。

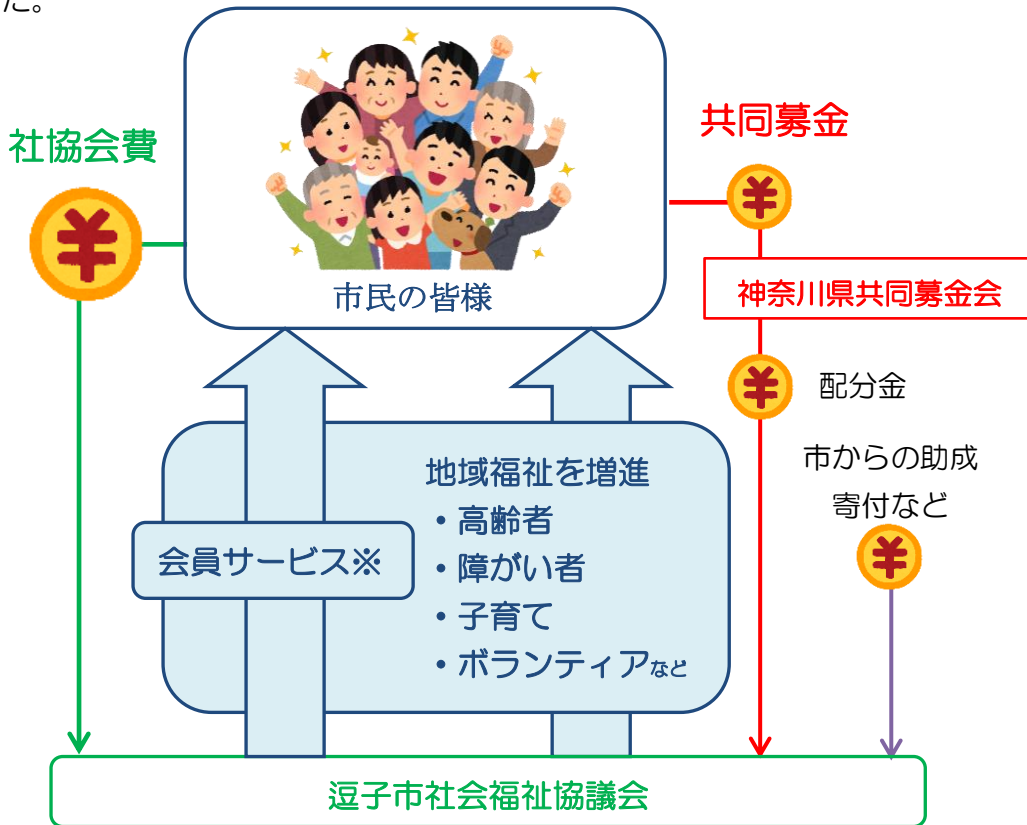
料金：1 時間 1,200 円
内容：家事のお手伝い、話し相手、子どもの見守り、通院・買物のお手伝い、簡単な草取りなど。

電話：873-3004

その他の「社協サービス」も、お気軽にご利用ください。

『逗子の福祉』を支えるお金の仕組み

逗子の福祉を支えるため、地域の皆様にご協力いただく「お金」の仕組みは、「社協の会費」や「共同募金（赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金）」があります。その「お金」が地域の福祉活動で活用されるのは、どのようなルートで何に使われているのか、逗子市社会福祉協議会を例にまとめてみました。



※社協会費をお支払いいただくことで社協会員となります。社協会員がご利用できるサービスを提供しています。主なサービスは、高齢の方、子育て中の方、障がいがある方の家事支援、車イスの無料貸出、お元気確認サービス などです。

社協の応援団になってください！

平成31年度社協会員募集中

住民によって構成されている社協は、地域の応援で成り立っています。社協の「会員」になって地域を応援していただませんか？

皆様の「会費」で、地域福祉の様々な事業を運営しています。

- 個人 一口 500 円（年）
- 団体 一口 5,000 円（年）

どうやって加入できるの？

- ・地域の募集でご協力
- ・福社会館でのご加入
- ・振込でのご加入

口座記号番号：00280-7-60555

口座名称：社会福祉法人逗子市社会福祉協議会

※恐れ入りますが振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。



ちびっこママのためのリフレッシュ講座「陽だまりサークル」 「ZUMBA®」

～ラテンの音楽に合わせて楽しく身体を動かしましょう！～

日時 5月23日(木) 10:00～12:00(受付 9:30～)

場所 逗子市体験学習施設 スマイル

講師 叶 朝羽さん (ZUMBA®インストラクター)

対象 未就園児の保護者

内容 ZUMBA®

定員 先着 15 名

持ち物 室内運動靴・飲み物

定員 15 名(先着順)

参加費 無料

申込 5月7日から先着順 (土日祝除く)

問合せ 地域福祉推進係

※動きやすい服装でお越しください



イベント・講座・催し

問合せ ☎873-8011

おれんじカフェすし(認知症カフェ)

日時：4月19日(金)・5月17日(金)
14～16時

場所：福祉会館 100円

対象：認知症の人とご家族、
認知症予防に関心のある方

弁護士相談(予約制)

日時：4月26日(金)・5月24日(金)
14～16時

場所：福祉会館 無料

対象：日常生活に不安を持つ、障がい
のある方やご高齢の方

成年後見相談(予約制)

日時：4月24日(水)・5月22日(水)
14～16時

場所：福祉会館 無料

対象：成年後見制度について知りたい
方

おもちゃの図書館

日時：4月27日(土)10～12時

場所：福祉会館

対象：お子さまと保護者 15組程度

お知らせ

●逗子社協ご寄附の窓口「あゆむ銀行」

あたたかい善意のご寄託誠にありがとうございます

2月1日～2月28日現在(順不同・敬称略)

○寄託金 6件 92,800円

逗子美術協会、臺野一夫、匿名4件

○寄託品 1件

東日本旅客鉄道(株)JR逗子駅(ペットボトルキャップ)

ボランティア募集中!

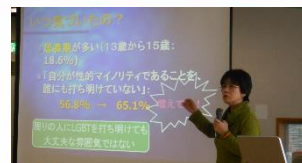
市内施設では様々なボランティアを募集しています。興味のある方は
ボランティアセンター(☎873-8037)までご連絡ください。

施設名	内容	時間帯
清寿苑	傾聴	14:00～15:00
	食後の下膳	12:30～13:30(14:00)
杜の郷	リネン交換	9:00～16:00(都合の良い時)
もやい	散歩の付きそい	10:00～12:00
	地域清掃手伝い	13:30～15:00
セアラ逗子	シーツ交換 認知症の方との談話	9:00～15:00(都合の良い時)

今月の福祉ニュース(p_-)

～中学校3年生に福祉の授業を行いました～(実施：H31年2月)

主題：『生きづらさを抱えた人と地域で共に暮らす～認知症の方の理解から～』



福祉教育こころプロジェクトチーム(社協を事務局として、趣旨に賛同いただいた有志の専門職や地域活動者等から構成される、メンバー13人のチーム)では、毎年、福祉の授業「こころ実践」を逗子市内の公立3中学校の1・3年生に向けて行っています。

全体講話(NPO法人日本地域福祉研究所 宮脇文恵さんより)では、見た目では分かりづらい障がいや病気、LGBT(タイの国では、LGBTに偏見はなく、周りにもたくさんいるし、普通のことであるという趣旨の街頭インタビューの映像等を使用)について、生徒に考えてもらいました。

- ・「LGBTというこの言葉が大切なのではなく、心の問題という、タイの方の言葉が印象に残った。」
- ・「このようなことを、ハンディキャップと捉えるか、個性や魅力等と捉えるかはその人や周りの理解しだいだと思った。」(「」内、生徒感想一部抜粋)

各クラスの授業では、認知症の具体的な関わりや、周りの人の理解、認知症の方の気持ち等(若年性認知症の丹野智文さんから逗子の中学生宛てに頂いた動画と手紙を使用)について、考えてもらいました。

- ・「認知症としっかり向き合っている人がいることを知り、認知症に対しても良いイメージを持つことができた。」
- ・「授業を受ける前と受けた後では、認知症に対する見方が180度変わった。」
- ・「認知症の人でも認知症じゃない人もほぼ一緒に、みんな明るく対応すると、みんな楽しいし、笑顔になるので、そのことは忘れないようにしたい。」(「」内、生徒感想一部抜粋)



*今回、認知症を学んだ生徒の皆さん、先生方合わせて、371名に認知症の方やその家族の応援者という印である『オレンジリング』(認知症サポーター)を配布しました。

中学生自身も周りの人にSOSを発信していくことや、SOSを出している人の気持ちを考え、協力していくことの大切さを考えてもらう機会となりました。こころプロジェクトチームは、今後も継続して、活動を行っていきます。



逗子人(ずしっと)ねっと Facebook ページ・twitter・メールマガジンでタイムリーな情報を発信中♪
広報誌さくら貝は、「逗子市役所高齢介護課前社協掲示板」「福祉会館」その他市内公共施設でも入手できます♪